

超速硬セメント JET-CEMENT (ジェットセメント)

ジェットセメントの特長

- 1. 3時間で実用強度を実現**
活性化されたアルミン酸カルシウムにより、驚異的な超速硬性を実現。約3時間で20N/mm²以上の実用強度を発揮します。
- 2. 長期にわたる安定した強度増進**
ポルトランドセメント同様に、長期間にわたって安定した強度増進が得られます。
- 3. 凝結時間は自由に調整可能**
ジェットセメント専用開発された凝結遅延剤「ジェットセッター」を使用すれば、凝結時間は任意に調節できます。
- 4. 打設後の表面沈下は極めて少量**
ブリーディング(浮き水)現象をほとんど起こしません。そのため、コンクリート打ち込み後の沈下を心配する必要はありません。



荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

ジェットセメントの用途

- ▶ **橋梁**：伸縮継手補修、床版打ち替え、床版増厚 拡幅に伴う間詰
- ▶ **道路**：排水柵の取替え・舗装の打ち替え、各種埋設物の埋め戻し、マンホール回りの補修、ブロックタイルの貼り付け
- ▶ **鉄道**：踏切、枕木取り替え補修、スラブ版下充填、軌道下補強
- ▶ **空港**：プレキャスト版下充填
- ▶ **工場**：土間、機械基礎



配合例

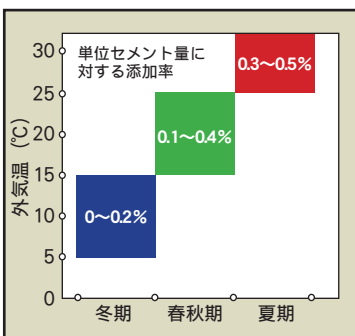
モルタル配合例：練上り約40ℓ (1:3モルタル)				
水セメント比 W/C (%)	単位量 (kg/40ℓ)			
	セメント	細骨材	水	ジェットセッター
50	20 (1袋)	60	10	適量

コンクリート配合例：1m ³ あたり									
粗骨材の最大寸法 Gmax (mm)	水セメント比 W/C (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m ³)						
			セメント	水	細骨材	粗骨材	混和剤		
								減水剤	遅延剤
25	37.5	38	400	150	707	1207	10	適量	

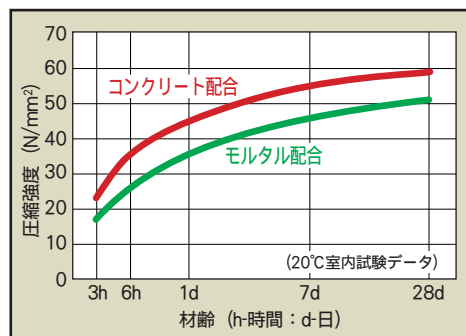
※上記は配合例になります。事前に試し練りを行い、性状を確認してください。

減水剤：単位セメント量×2.5%

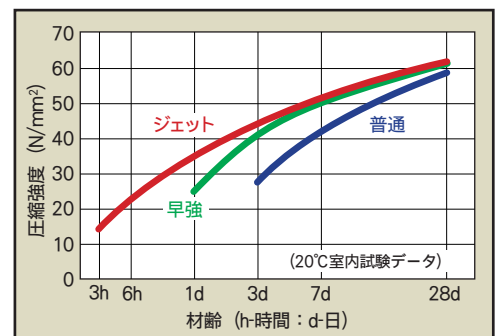
ジェットセッターの添加率



圧縮強度の測定例 (モルタル, コンクリート)



各種セメントの圧縮強度比較例 (JIS R 5201)



施工手順

使用材料

セメント：ジェットセメント
 水：清浄なもの
 細骨材：粗粒率2.5～3.2程度の良質のもの
 粗骨材：粗粒率6.5～7.5程度の良質のもの
 減水剤：マイティー150（花王㈱製）
 凝結遅延剤：ジェットセッター
 被膜養生剤：スミセエスシー
 プライマー：ライオンポンドA
 ※スミセエスシー、ライオンポンドAは2～3倍希釈でご使用ください。

打込み

- 旧コンクリートの下地処理は十分に行ってください。打込んだコンクリートの水分が型枠・旧コンクリートなどに吸われることがないように打ち水、もしくはプライマー処理・プラスト処理等を行ってください。
- パイプレーターで十分に締め固めてください。
- ジェットセメントは硬化が速いので、作業が中断しないようにしてください。
- 多層打ちを避けて、一層打ちにし、打ち継ぎ目を作らないようにしてください。
- 硬化しかかったモルタル・コンクリートに、水を加え練り返して使用しないでください。

準備

- モルタル・コンクリート用強制練りミキサ、または傾胴式ミキサ等。
- 計量容器、ハカリ、コンクリート受皿
- 内部振動式パイプレーター
- スコップ、木ゴテ、金ゴテ
- 養生剤・養生マット・養生シート等

※硬化が早いため道具を多めに用意してください。

表面仕上げ

- 施工可能時間は、ジェットセッター添加率により変わりますが、およそ20～30分ですので表面仕上げは早い時期に行ってください。表面仕上げ終了後、できるだけ早い時期に被膜養生剤（スミセエスシー）を噴霧器等で、均一に散布してください。
- 表面仕上げを行う際に、モルタル・コンクリート表面に水・混和剤をかけないでください。

計量

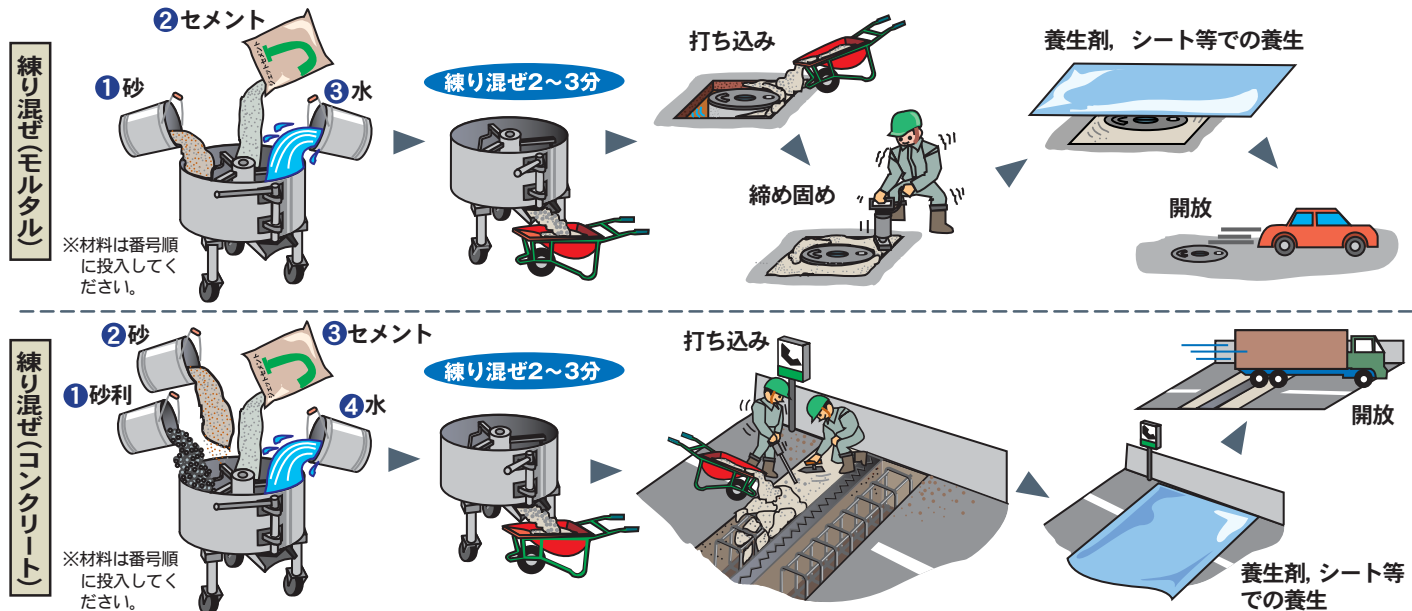
- 各使用材料はあらかじめ1バッチ分ずつに計量しておいてください。
- 減水剤・凝結遅延剤は、あらかじめ混練水によく溶かしておいてください。

養生

環境条件の違いによる養生方法の組合せ例

環境条件	10℃以上	5℃～10℃	5℃以下
養生方法	皮膚養生	皮膚養生	皮膚養生
	↓	↓	↓
保温養生		保温養生	保温養生
	↓	↓	↓
シート養生	シート養生	シート養生	シート養生
	↓	↓	↓
加温養生			加温養生
	↓	↓	↓
後養生	後養生	後養生	後養生
	供 用 下		

- 保温養生：保温マット等による養生
 シート養生：不透水性シートによる養生
 加温養生：ジェットヒーター・電気毛布等による養生
- 養生は原則、施工後3時間以上行ってください。
 - 養生中のモルタル・コンクリートには、散水等を行わないでください。
 - 加温養生を行う際はモルタル・コンクリートに直接熱源や風を当てるとひび割れの原因となりますので、必ずシート養生を行ってから実施してください。



暑中対策

- 材料温度が高いと練り上がり温度が上がります。急激な硬化の原因となりますので以下の処置を行ってください。
- 材料は直射にあたらぬように保管してください。
 - 外気温が30℃を超え、練り上がり温度が35℃を超えると予想できる場合は、冷水等を使用し練り上がり温度が35℃を超えないようにしてください。
 - 打設後の養生は直射、風等による乾燥がおこらないよう施工後すぐにシート養生等を行ってください。

寒中対策

- 雪雪のついている材料は、そのまま使用しないでください。
- 打ち継ぎ目のコンクリートが凍結している場合は、適当な方法でこれを溶かし、打ち継いでください。
- 材料を加温する場合は、水または骨材を加温するのが効果的です。
- 材料を加温した場合、モルタル・コンクリートの性状が異なる場合がありますのでご注意ください。
- 型枠の取り外し時は、打設個所の温度を急激に低下させないようにしてください。

使用上の注意

- 本製品は強アルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。直接、皮膚に触れたり、目に入らないようにしてください。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防護眼鏡等を必ず着用してください。
- 発塵に注意し、十分な換気に配慮してください。
- 目や口に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼・うがいを行い、直ちに専門医の診察を受けてください。
- セメントの容器(袋)は完全防水仕様ではありませんので、保管は屋内で行ってください。屋外に仮置きする場合は、パレット等できさ上げし防水シートで覆ってください。開封したセメントは、なるべく早く使用してください。
- 他のセメントと混ぜないでください。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 102-8465	東京都千代田区六番町6番地28	電話 03(5211)4752	Fax 03(3221)5624
大阪 530-0004	大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)	電話 06(6342)7704	Fax 06(6342)7708
東北支店 980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10(住友生命青葉通りビル12F)	電話 022(225)5251	Fax 022(266)2516
北陸支店 920-0847	金沢市堀川町2-13(カーニブレイス金沢駅前7F)	電話 076(223)1505	Fax 076(223)0193
名古屋支店 450-0003	名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル)	電話 052(566)3202	Fax 052(566)3273
四国支店 760-0023	高松市寿町2-2-10(JPR高松ビル3F)	電話 087(851)6330	Fax 087(822)6870
広島支店 730-0031	広島市中区小町3-25(住金物産広島ビル8F)	電話 082(242)1155	Fax 082(242)1233
福岡支店 812-0011	福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙博多ビル8F)	電話 092(481)0186	Fax 092(471)0530

本カタログの記載内容については、予告無く変更する場合がありますので、予めご了承願います。

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は